



裏磐梯だより

No.90

2018年5月



▲新緑の赤沼

今年は全国的に春の訪れが早かったようですが、こちら裏磐梯もあっという間に草木が芽吹き、日に日に瑞々しい緑が深まっていく季節となりました。陽光で輝く木々の緑とエゾハルゼミの大合唱が森を包み込めば、もうすっかり初夏の森です。

赤沼は一見名前にそぐわない色をしています、鉄分を多く含む水質から、沼岸を覆うヨシなどの根元が赤錆色あかさびいろをしています。沼の色は緑が基調ですが、季節によって、その緑の色味が顕著に変化する不思議な沼です。冬季から早春にかけては、うぐいす色や抹茶色のような渋めの緑色にみえていましたが、5月5日にみたときには青緑色ひすいに変わっていました。条件によっては、まるで翡翠のように輝いてみえることもあります。

赤沼をはじめ、五色沼湖沼群には、一度訪れただけでは知り尽くせない一期一会の表情があります。ぜひ、季節や時間を変えて何度でも足を運んでみてください。

～在来種のドン「アズマヒキガエル」～

アズマヒキガエル
(無尾目ヒキガエル科)

繁殖期以外は水辺から離れて生活しており、雑木林や民家の庭などでもみることができます。夜行性で昆虫やミミズなどを食べます。



アズマヒキガエルの大きさ ※1/2 縮尺

大きくなると…

上陸直後



翌年



オタマジャクシから成体に変態した直後の大きさは約 10 mm です。その後、変態した翌年には 5 倍の約 50 mm まで成長します。また、アズマヒキガエルは最大で約 165 mm まで大きくなります。アズマヒキガエルの自然環境下での最高寿命は 8 年とされています。これは日本産のカエルのなかでは一番の記録です。長生きするから体がどんどん大きくなるのか、体が大きいから長生きできるのか、どちらなのでしょう？

ヒキガエルの毒とヤマカガシ



危険を感じると、眼の後ろの耳腺から白い毒液（ブフトキシン）を出します。しかし、そんな毒を気にせずヒキガエルを食べてしまうのが、毒蛇のヤマカガシです。さらにヤマカガシは、食べたヒキガエルの毒を頸腺という独自の器官に蓄積し、利用してしまうのです。

食べちゃうよ





吊り橋のある探勝路

裏磐梯のトレッキングコースで、唯一吊り橋のある、桧原湖畔探勝路。吊り橋からは、絶景の桧原湖を眺めることができます。

吊り橋は、橋の形式の一種で、綱などの張力で下げ支える形式のもの。古典的な吊り橋としては、植物のついで両岸から本体を支える構造の「かずら橋」があります。桧原湖畔探勝路の吊り橋は、2本の主塔とそれに渡される2組のメインケーブルを持ち、そのケーブルから鉛直に垂らされたロープで桁を支持し、桁の上に床板を置き、人が通れるようにしたものです。

今日は、探鳥を主として巡視をしてきました。あいにくの天候にもかかわらず、25種もの鳥を確認することができました。姿を確認できた鳥、鳴き声だけを確認できた鳥などありましたが、ニューナイスズメ・イスカ・ウグイス・ヤブサメ・キビタキ・オオルリ・コゲラ・センダイムシクイ・コサメビタキなど、たくさんの鳥たちに出会えました。これからは、野鳥たちの子育ての季節になります。そっと見守ってください。



▲吊り橋を渡っているところ

◀ニューナイスズメ (左上)、イスカ♂ (右上)
コゲラ (左下)、コサメビタキ (右下)



🌸 にとっておき！自然発見メモ 📖 自然解説員が自然のなかでみつけたにとっておきの情報をおすそわけします！

5月13日



紫色のキクザキイチゲ

山地に春を告げる植物です。花弁の色は白色～薄紫色～紫色まで多彩であるそうですが、やっと濃い紫色の花に出会えました。

5月15日



ヤナギハムシ

一見テントウムシにみえますが、れっきとしたハムシです。名前の通りヤナギ類が食草ですが、このときはシロツメクサの上にはいました。

5月18日



キイロスズメバチ

時期的にも大きさ的にも女王蜂だと思えます。危ないと分かっているもつい写真を撮ってしまうカッコよさがスズメバチにはあります。

イベント&お知らせ

● わくわく散歩

スタッフがビジターセンター周辺をご案内します。

受付時間：随時
所要時間：30分程度
参加費：100円
定員：10名



● スライドトーク

磐梯山の噴火や五色沼の水の不思議などについて、スタッフがスライドを映しながらお話します

受付時間：土日祝日の11:30~
所要時間：20分程度
参加費：無料

● 夏の展示をはじめます

夏にみられる花や水生昆虫など、季節にあわせた内容に更新中です。お楽しみに！

● レンタルできます

長靴、クマ鈴、双眼鏡、傘のレンタルをしています。
※詳しくはお問い合わせください。



今年も雪室見学室がオープンしました！

裏磐梯ビジターセンターには、冬の間に積もった雪を貯蔵し、夏の冷房として活用できるシステムを備えた雪室があります。毎年、夏の間は雪室に隣接する部屋を「雪室見学室」として開放しています。のぞき窓からどれくらいの雪が貯蔵されているのかを確認したり、雪の冷風を体感したりすることができます。本館の見学とあわせて、ぜひご覧ください。



▲外からみた雪室



▲雪室見学室内

《編集・発行》裏磐梯ビジターセンター自然体験活動運営協議会 2018/5/30 ※裏磐梯だよりの営利目的での使用をお断りします。

* 定期購読のお知らせ *

ご住所とお名前を明記の上、82円切手6枚（奇数月発行1年間分）を同封し裏磐梯ビジターセンター宛にご郵送ください。

磐梯朝日国立公園 裏磐梯ビジターセンター

〒969-2701

開館時間 9:00~17:00 入館無料 TEL 0241-32-0850 FAX 0241-32-2851

福島県耶麻郡北塩原村大字松原字剣ヶ峯 1093 休館日 火曜日

ホームページ <http://www.urabandai-vc.jp>